



## 第 22 回 例会 報告 (12月17日)

## 【 出 席 報 告 】

・会員数 54名 ・出席数 36名 ・欠席数 14名  
 ・当日出席率 70.60% ・前々回修正出席率 72.50%

<欠席会員>青野(淳)、平尾、平田、廣川、藤田、小堀、桑森、見乗、宮道、大澤、岡本、坂本、重松、渡辺、八木(伸)

〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、光藤

<12/3 欠席補填>(12/7 今治北)阿部、平尾、平田、廣川、木村、吉良、小堀、桑森、見乗、宮道、大澤、丹下、渡辺、吉田

◇**会長報告**・本年最後の例会ですので通常なら忘年夜間例会で楽しくお酒を飲みながら親睦を図るところですが、残念です。しかしながら皆様のご理解とご協力とご協力で上半期、休会することなく終わることができました。本当にありがとうございます。引き続き年明けも短縮例会ですがご協力賜りますよう、また皆さんにとって来年が良い年でありますようご祈念申し上げます。

◇**幹事報告** ・12月24日(木)・31日(木)は休会です。次回例会は1月7日(木)になります。  
 ・事務局は12月29日(火)～1月3日(日)、年末年始休暇です。  
 ・入会3年未満の方は2月6日(土)予定のインターシティ・ミーティングに是非ご出席下さい。  
 ・私の祖父が当クラブの会員でしたが、我が社の執務室で見つけた昭和45(1970)年の週報(ハガキ)を回覧しています。高尚な当時の活動内容が覗えます。是非ご覧下さい。

◇**親睦活動委員会・誕生日スピーチ**・西本信保会員：高齢者の仲間入りです。高齢者のメリットは予防接種が安くなることぐらいですが、体に気をつけてやっていきたいと思えます。来年は丑年ですので楽しいことが牛(ぎゅ)っと詰まった1年でありますように。

## 親睦活動委員会アワー

◆**板脇俊匡委員長『コロナ禍での寺院状況』**:今年は何の仕事でも大変な状況で、難しい対応を迫られたことでしょう。仏教界でも大きな法会や集会は中止となり、南光坊も4月20日から5月10日まで納経所閉鎖、参拝停止を余儀なくされました。四国八十八ヶ所霊場会からの閉鎖要請解除後も大手旅行会社が企画した大型バスでの閏年逆打ち遍路は全てキャンセル。同時に葬儀や法事の簡素化も進みました。オンラインによるリモート参拝やお布施の電子決済を取り入れた寺院も増えたようです。▼松山で通夜クラスターが発生したため、中予ではお盆の檀家さん参りを中止したお寺も多かったようですが、私は例年通り棚経を執行しました。檀家さんからの拒否反応は全くなく、先師からの伝統が守られて安堵しています。コロナに慣れた秋以降はお遍路さんが増え始め、10月のGoTo トラベルキャンペーンで想定外の参拝者増となりました。賛否両論ありますが、経営的に少しは楽になったと感じます。▼疫病と仏教は歴史的に密接な関係があります。奈良の東大寺は当時の人口の25～35%が亡くなったとされる疫病(天然痘)から人々の不安を取り除き、国を安定させるために大仏を建立しました。真言宗にも疫病終息を願って盛んに祈祷してきた歴史があります。十一面観音(花瓶の水で衆生の熱脳を除く)を拝む流派と赤い不動明王(赤色の炎で熱病を治す)を拝む流派に集約され、私は三宝院流で伝えられるとおりの十一面観音を3月頭ぐらいから拝んできました。▼最後に私事ながらコロナ禍の中で達成できたことを挙げます。一つはダイエット成功。会議会合がほぼ中止になり、夜のお付き合いが減ったことと、時間に余裕ができて人間ドックを受診したことにより。人間ドックの結果が出た日からアルコール、コーヒー、炭酸飲料の摂取をやめ、糖質をできるだけ制限したら、体重が4～5kg減り、いろんな数値が改善されました。もうひとつは投資を始めたこと。老後の生活設計のためにネット証券に口座を開きました。『投資家がお金よりも大切にしていること』(藤野英人・著)によると「スキルを身につけたり幅広い分野に友人を持つことも投資」なのだそうです。その意味でも異業種の人材が揃うRCの例会に出席し、信頼できる人間関係を築くことはひとつの投資と言えるのではないのでしょうか。



## 次 回 例 会 (1月7日)

## 【 新 年 の 抱 負 】

<入会記念日祝> 原 竜也氏 (1/8) 村上 裕一氏 (1/8) 冠 康秀氏 (1/9)  
 矢野 暢生氏 (1/9) 吉田 透氏 (1/13) 吉武 誠治氏 (1/13)

〔 笹 〕